

平成27年4月26日執行

清瀬市長選挙選挙公報

清瀬市選挙管理委員会

平和で暮らしやすい清瀬に転換
全力でがんばります

暮らしを守る安心プラン

- 国保税のひとり5,000円引下げ
- 特養ホームの誘致で待機者解消
- 高齢者入院見舞金の実施、孤立死ゼロへ地域のネットワークの構築
- 保育園の待機児をゼロの実現
- 産科・小児科の充実
- 雇用と仕事を確保へ公契約条例とリフォーム助成
- 小中学校特別教室にエアコン設置
- 太陽光発電など自然エネルギーを活用し、原発ゼロをめざします。
- 市庁舎、野塩・下宿市民センターの耐震改修をすすめます。
- 非核宣言にふさわしく平和施策の樹実

「戦争する国づくり」
はゆるしません

日本共産党
すいせん



無所属
高田ゆたか

戦後70年、憲法9条や25条はかけがえのない宝です。私は、日本を「戦争する国」に作りかえ、原発再稼働、社会保障の大改悪、そして消費税増税など暴走する安倍自公内閣に強い怒りを感じます。
現市政の4年間は、この「暴走」を容認し、市民に負担をもちます。「改革」を推進してきました。現市長には、これ以上市政をまかされません。平和で暮らしやすい清瀬へ転換するために全力でがんばります。

生き生きと健幸で明るく元気な清瀬市を

個性ある文化が生まれ、自分たちのまちを創ろうとする
住民自治がある「都市格のあるまち」を目指します。

1. 「安全で安心して暮らせるまち」をさらに進める。
2. 誰もが「健幸で元気に暮らせるまち」を目指す。
3. 「子育てが楽しいまち」を実現する。
4. 「生きがいの持てるまち」を目指す。
5. 農業の育成と商工業の活性化をさらに進める。
6. 快適で安全な生活都市を充実させる。
7. 世界医療文化遺産を目指す。
8. 行財政改革を引き続きしっかりと進める。

手をつなぎ、心をつむぐ、みどりの清瀬

1. 安全で安心なまちづくり
 - 耐震化が図られていなかった保育園や学童クラブ、老人いこいの家の耐震化を完了。
 - 市役所庁舎の建て替えによる耐震化方針を決定。
2. 子育て支援
 - 認可保育園の定員を189人増員。
 - すべての市立保育園で延長保育を実施。
3. 教育
 - 小中学校の校舎大規模改修を毎年2校ずつ行うこととし、教育環境を充実。
 - すべての小中学校で赤ちゃんのチャラプロジェクトを開始。
4. 水と緑の環境保全
 - 雑木林の萌芽更新を計画的に推進し、国蝶オオムラサキを育成。
 - けやき通りのケヤキの樹形整備を推進。
5. 農業と商工業の活性化
 - ハイブハウスの整備や農機具の購入などへの助成を実施。
 - ニンニクスタンプ事業を開始。
 - プラスワンのひまわりフェスティバル、ひまわり市を開催。
6. 清瀬文化の創造等々、総じて市民福祉の維持向上に努めた。
 - 「清瀬と結核医療の尊い歴史」に光を当て、それら一つ一つをつむいで物語をつくることで、さらに大きな物語が生まれてきています。

現 清瀬市長

元 清瀬市議会議員(4期16年)
第33代 清瀬市議会議長
清瀬市消防団 元副団長
清瀬青年会議所 第11代理事長

フシTV「ひらけ!ボンキッキ」元監督
淑徳文化専門学校 元講師
(学)清瀬富士見幼稚園 元園長
(学)稚竹幼稚園 理事

(社)特養ホーム「こくれの里」理事
(社)東所沢たんぽぽ保育園 創立者
(株)東所沢スポーツクラブ 創立者
早稲田大学政治経済学部 卒業



しづや
金太郎
無所属 63歳

渋谷市政4年間の実績

投票日 4月26日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

みんなで投票。みんなで参加。

(この選挙公報は、清瀬市選挙公報発行に関する条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を原文のまま掲載したものです。)

投票日

4月26日(日)

投票時間

午前7時～午後8時

※投票日当日、仕事や旅行などで投票所へ行くことができないと見込まれる方は、「期日前投票」をご利用ください。

みんなで投票。

みんなで参加。